



平成24年5月24日

職員による河川清掃活動を実施 ～ 国道事務所だって河川を愛しています ～

佐賀市では、春秋の年2回「川を愛する週間」を設定し、荒廃していた川をきれいな川に戻すため、昭和55年から取り組みを進めており、市内全域において自治会や事業所等が主体となって河川清掃活動を行っています。

佐賀国道事務所においても、この取り組みに参加しており、5月16日(水)17時30分頃から、約40名ほどの職員により事務所周りの河川清掃と庁舎内の除草作業を行いました。河川と言っても多布施川から分派した排水路ですが、生活用水・雨水排水等の大きな役割を担っています。

作業着と長靴に着替えた職員たちは、角スコップや金ボウキを手に、泥土や藻の除去を行いました。取り除いた泥土等はコンテナ30杯(10kg～15kg/コンテナ1杯)ほどになり、翌日以降の筋肉痛が心配されるほどの重労働となりました。

また、職員たちは、庁舎周りの除草も併せて行い、蚊にさされながらも雑草をなぎ払い、ゴミ袋15袋ほど集まりました。時間に見れば、約1時間程度の作業でしたが、庁舎周りもスッキリとなり、心地よい疲労とともに達成感を味わうことができました。



コンテナには新聞紙を引いていますが、泥土や藻の水切りを十分におこなわないと、コンテナがかなりの重量となってしまいます。結局水分がいくらか残ってしまい、持ち運ぶ際に苦労しました。



庁舎の植栽帯や民有地との隣接箇所などの除草を重点的に行いました。地表が見え、スッキリとしました。

